

自然物で遊んだよ

対象児 1歳児 ばら組
作成日 令和2年12月18日
作成者 山川真紀

●ねらい

- ・ 保育者と友達と自然物に触れて遊ぶことを楽しむ。
- ・ 寒さに負けず体を動かして遊ぶことを楽しむ。



●振り返り

自然物を遊びのなかで、取り入れてみました。ままごとのコップやお鍋に、ドングリや松ぼっくりを入れて、おたまやスプーンで、混ぜて、「ジュースできたよ」「ごはん できた」といって、人形や友達、保育者に「どうぞ」と言って食べさせる真似をしたり、コップにドングリを入れて、音がすることに気づき楽しむ様子がみられたので、小さな容器を準備すると、指でドングリをつまんで、容器に入れて鳴らしたり、たくさん、容器に入れることを楽しむ様子もみられました。容器のキャップをねじって開けて、容器を振って、ドングリを出しては、また容器に入れることを繰り返し楽しむ姿や「いっぱいある。ちょっとある。」など、物の多少や「おおきい・ちいさい」など、大小にも気づくこともありました。ドングリを一つずつ並べてみたり、転がしてみたり、松ぼっくりのけん玉では、松ぼっくりが紐からぶら下がっているのを見て「ユラユラ～」と言って見つめる姿もありました。ちょっとしたもので、子どもたちは、遊びをつくりだし、物の大小、多少、形にも気づき、容器を開けるためには、キャップを捻ってみる、指で採れなかったら、振って採ってみるなどということ遊びのなかで、日々学んでいると感じました。遊びのなかで、育ってきていることを大切に、これからも環境を整え保育していきたいと思ひます。

(思考力の芽生え・自然との関わり・生命尊重・言葉による伝え合い)